一般財団法人東京 2025 世界陸上財団
第４回理事会議事録

１．開 催 日 時：令和５年 10 月 25 日（水）午後４時
２．開 催 場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE ３階 会議室８
３．出　席　者：（１）理事総数　　10 名
　　出席理事　　９名
　　会長　　　　尾縣　貢
　　副会長　　　潮田　勉
　　事務総長　　武市　敬
　　理事　　　　風間　明（Web 出席）、野口　みずき、広瀬　史乃
　　　　　　　　八木　由里、横山　英樹、來田　享子（Web 出席）

（２）監事総数　　２名
　　出席監事　　２名
　　工藤　陽子、渡邉　剛

４．議事
（１）決議事項
　第１号議案　　内部監査規程の制定について
　第２号議案　　第三者審査委員会の委員選任について
　第３号議案　　大会開催ビジョン及び大会メインカラーの策定について

（２）報告事項
　・インボイス制度開始に伴う対応について
　・業務執行理事の職務執行状況の報告について
　・その他

５．理事会の議事の経過の概要及び議決の結果
　上記のとおり本理事会は定款第 35 条の規定に定める定足数の出席があったので、定刻、会長が議長席に着き開会を宣し、次の議案の審議に入った。
　なお、本理事会は Web 会議システムを併用して開催しており、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時適確な意見表明が互いにできる状態となっていることを開会前に確認している。

（１）第１号議案　内部監査規程の制定について
　議長は、第１号議案を上程し、事務局から資料１に基づき説明がなされ、議案の賛否を諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

（２）第２号議案　第三者審査委員会の委員選任について
　議長は、第２号議案を上程し、事務局から資料２に基づき説明がなされ、議案の賛否を諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

（３）第３号議案　大会開催ビジョン及び大会メインカラーの策定について
　議長は、第３号議案を上程し、事務局から資料３に基づき説明がなされた。來田理事より「ビジョンのなかで、東京ドリームを提供します、とあるが、夢は提供されるものではないような気がしている。夢があって、それを実現する、というような言い方だとよいのかと思う」などの意見が述べられた。第３号議案について、大会開催ビジョンについては、來田理事の意見を踏まえて大会開催ビジョンの一部を修正することで全員異議なく承認可決し、大会メインカラーについては原案のとおり、全員異議なく可決した。
　その後、大会開催ビジョンを、どのように開催基本計画に反映させていくか、その取組の方向性について意見交換を行った。潮田副会長より「フェアネスやレガシーなどが配慮された内容となっている。また、海外のアスリートにも声援が届く環境づくりも大事だ」、横山理事より「選手への応援の仕方はいろいろ考えられると思う。取組の方向性の中で、東京の魅力の PR、こども、環境への配慮など重要な点が含まれており内容について了解した」、來田理事より「IOC がやっているようなジェンダー平等の取組、これをレガシーの中に含めていくとより評価してもらえるのではないか。また、世界が分断する状況にある中で、選手同士の交流という視点も含めるとよいと思う。環境への配慮という点では、専門チームを入れるとか、そうした方向性で考えていくとよいのかと感じた」との意見がそれぞれ述べられた。

（４）報告事項　インボイス制度開始に伴う対応について
　インボイス制度開始に伴う対応について、事務局から資料４に基づき報告がなされ、了承を得た。

（５）報告事項　業務執行理事の職務執行状況の報告について
　各業務執行理事の職務執行状況について、事務局から資料５に基づき報告がなされ、了承を得た。

　以上をもって議案の全部の審議及び報告が終了し、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了したので、議長は、午後５時 52 分閉会を宣し、解散した。

　上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 38 条第２項の規定に基づき、出席した会長及び監事が以下に記名押印する。

令和５年 10 月 25 日
一般財団法人東京 2025 世界陸上財団